
平成26年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成26年3月7日

質問者（質問順）

- 1 木下義裕 委員（結ぶ会）
- 2 古谷靖彦 委員（共産党）
- 3 輿石且子 委員（自民党）
- 4 高橋徳美 委員（自民党）
- 5 斎藤真二 委員（公明党）
- 6 大山しょうじ 委員（民主党）
- 7 山下正人 委員（自民党）
- 8 横山勇太郎 委員（みんな）
- 9 山田桂一郎 委員（ヨコ会）
- 10 井上さくら 委員（無所ク）

教育委員会事務局

局 別 審 査

1 木 下 義 裕 委 員 (結 ぶ 会)

1 中学校給食について

- (1) 川崎市のアンケート結果についての感想について伺いたい。
- (2) 「栄養バランスのとれた温もりのある昼食」と「給食」との違いは何か。
- (3) 国が標準的な行政サービスとして、中学校給食経費を年間17億円程度と考えている点から、中学校給食を実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) 17億円を6年間ためて仮に100億円あれば、十分に中学校給食が実施できると考えるが見解を伺いたい。

2 中高一貫教育校について

- (1) 南高校附属中学校が高い評価と信頼を得ている理由を伺いたい。
- (2) 南高校を中高一貫校にする際に併設型にした理由と、併設型による2度の入試についての現場の教職員の意見を伺いたい。
- (3) 横浜サイエンスフロンティア高校を中高一貫教育校にするに当たり、併設型か中等教育学校型かという設置形態と設置時期の決定方法について伺いたい。
- (意見) 科学教育・英語教育において全国的に見ても先進的な教育として注目されているため、中高一貫教育によりさらに発展させ、グローバル社会で活躍できるような教育を行うことを期待する。

3 英語教育について

- (1) 市立学校でTOEFL-iBTではなくTOEFL-ITPを実施する理由を伺いたい。
- (2) TOEFL-ITPの大学での利用状況について伺いたい。
- (3) 市立小中高校で英語4技能を習得させるための取組を伺いたい。
- (意見) 実践的なコミュニケーション能力が身につく英語教育を期待する。

4 教員の海外派遣研修について

- (1) 派遣先として予定している国を伺いたい。
- (2) 派遣する教員の選定方法を伺いたい。
- (3) 研修成果の還元方法を伺いたい。

2 古谷靖彦委員（共産党）

1 中学校給食について

- (1) 中学校で給食を実施していない理由を伺いたい。
- (2) 家庭弁当の良さは何か。
- (3) 家庭弁当の良さの根拠となる家庭の調査は行っているのか。
- (4) 調査を行わずに家庭弁当の良さを言い切れる理由を伺いたい。
- (5) 様々な家庭があるからこそ、公の役割として成長期に必要な食べ物を摂取できよう給食があると考えるが見解を伺いたい。
- (6) 小学校で給食を選択している理由を伺いたい。
- (7) 給食及び家庭弁当の課題について伺いたい。
- (8) 学校給食法の改正の趣旨と教育長の見解は反すると思うが見解を伺いたい。
- (9) 学校給食法制定当時ではなく、現在についてはどうなのか。
- (10) 学校給食が法によって制定された意味を伺いたい。
- (11) 栄養バランスに着目した場合、家庭弁当と学校給食のどちらが望ましいか伺いたい。
- (12) 家庭弁当の方が栄養バランスが望ましいと答弁してきたが、その根拠を伺いたい。
- (13) 2012年度予算要望の回答についてどう考えるか。
- (14) 学校給食摂取基準は本市の中学校の食育の中ではどう位置付けられているか伺いたい。
- (15) 再度、本市の中学校の食育の中ではどう位置付けられているか伺いたい。
- (16) 学校給食摂取基準は頻繁に臨時改訂されているが、本市中学校ではどのように位置付けているのか伺いたい。
- (17) 国の食育推進基本計画での学校給食の普及の方針に本市は従わないということか。
- (18) 学校給食の一層の普及促進とした食育基本計画に背いていないか。

- (19) 中学校で家庭弁当での食育を進めるために努力していることについて伺いたい。
- (20) 平成16年の学校教育法改正により栄養教諭制度が創設され、学校教育法に学校給食が位置付けられたため、学校教育法にも反しているのではないか。

3 輿石且子委員（自民党）

1 平成26年度教育予算について

- (1) 予算編成を終えての所感を伺いたい。
- (2) 平成26年度教育予算で特に重点を置いた点について伺いたい。

2 グローバル人材育成について

- (1) 横浜教育ビジョンに掲げる5つの目標とグローバル人材育成との関係について伺いたい。
 - (2) 児童生徒の発達段階に応じた英語教育について伺いたい。
 - (3) 「横浜市世界を目指す若者応援事業」における教育委員会の関わり方について伺いたい。
 - (4) 高校生の個人海外留学支援の選考方法と横浜への愛着を育む事後の取組を伺いたい。
- (要望) 留学経験を個人としてだけでなく、社会への貢献として生かす意識を持った、トップリーダーの養成という視点に立ち、留学を検討してほしい。

3 道徳教育について

- (1) 海外で評価されている日本人のよさと、その育まれ方について伺いたい。
 - (2) 本市の道徳教育の目指す方向性について伺いたい。
 - (3) 本市の道徳教育のこれまでの取組及び今後の取組を伺いたい。
 - (4) 「道徳授業力向上推進校」の取組を伺いたい。
- (要望) 道徳授業力向上推進校の取組みを36校に留まることなく、全体に広げていただきたい。

4 防災教育について

- (1) 自ら行動できる子供を育てるために必要なことは何か。
- (2) 地域防災や災害時に進んで活躍できる子供の育成に大切なことは何か。

(3) 地域防災の担い手として強いリーダーシップをもち将来にわたって地域の消防団等で活躍できる人材を育成する少年消防団のようなしくみを構築する必要があると考えるが見解を伺いたい。

(要望) 子供の人格形成を促すという視点に立った消防団の育成を考えていただきたい。

5 子宮頸がんワクチンについて

(1) ワクチン接種に関連した症状により、学校生活に支障が生じている生徒に対する配慮について伺いたい。

(2) ワクチンを接種したことに関して、不安をもっている生徒への支援について伺いたい。

(要望) 学校だからこそできることもあると思うため、子供たちや保護者不安を取り除いていただくよう努力してほしい。

6 学校統合と跡地利用について

(1) 学校統合をした地域や保護者からのこれまでの評価について伺いたい。

(2) 学校統合を実施する際、まちづくりの視点も考慮して検討を進めていくべきと考えるが見解を伺いたい。

(3) 埋蔵文化財センターの今後の活用についての考え方を伺いたい。

4 高橋徳美委員（自民党）

1 ICT教育環境の整備について

- (1) 校務システムを活用した学校数及びシステムを活用して通知表を作成した学校数を伺いたい。
 - (2) 学期末である今月の通知表作成時における校務システムの活用状況を検証すべきと考えるが見解を伺いたい。
 - (3) 来年度の通知表作成に当たって、校務システムの活用に関する考えを伺いたい。
 - (4) 学校を支援するICTの専門家を配置することに関する考えを伺いたい。
 - (5) ウィンドウズXPのサポート終了の問題に関する認識について伺いたい。
 - (6) ウィンドウズXP端末でのインターネット利用ができない期間が発生することへの対応について伺いたい。
 - (7) 児童生徒や教職員に対してタブレット端末を導入することに関するメリット・デメリットについて伺いたい。
 - (8) 小中学校における児童生徒のタブレット端末の活用の進め方について伺いたい。
 - (9) 小中学校における教職員のタブレット端末の活用の進め方を伺いたい。
 - (10) 実証実験を含め教職員のタブレット端末と校務システムの連動を進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (11) 自宅でも校務システムが利用できるような環境整備を行っていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (12) 教職員や児童生徒にとって、より良いICT教育環境を整えることが重要と考えるが、副市長の見解を伺いたい。
- (要望) より良いICT教育環境を今後も整えていただくよう要望する。

2 市立高校の特色と課題について

- (1) 戸塚高校音楽コースが定員割れとなった原因に対する考えを伺いたい。

- (2) 老朽化した金沢高校の施設改修を行い、教育環境の向上を図るべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 横浜商業高校スポーツマネジメント科への期待について伺いたい。

3 文化財保護について

- (1) 本市における文化財の数を伺いたい。
 - (2) 文化財所有者に対する助成制度の概要を伺いたい。
 - (3) 無形民俗文化財保護団体に対する助成制度の概要を伺いたい。
 - (4) 旧川合玉堂別邸の今後の活用に関する検討の進め方について伺いたい。
- (要望) 公園としての活用や建物の復元なども含め、地元の皆様の気持ちを大切に
して、広く意見を聴きながら検討を進めていただくことを要望する。

5 齋藤真二委員（公明党）

1 防災教育について

- （１）市立学校の防災訓練や防災教育の現状を伺いたい。
- （２）「横浜市防災教育の指針・指導資料」の内容と活用を伺いたい。
- （３）横浜市民防災センターの活用について伺いたい。
- （要望）各学校でも実効性のある防災教育を推進していただきたい。

2 児童支援専任教諭の配置といじめ対策について

- （１）児童支援専任教諭の配置による、いじめの認知状況、解消率の変化について伺いたい。
- （２）小中一貫型カウンセラー配置の進め方について伺いたい。
- （３）ネットいじめに対する保護者啓発について伺いたい。

3 中学校でのAETの常駐化と英語教育の推進について

- （１）AETを中学校全校に常駐させるねらいを伺いたい。
- （２）AET常駐校での効果的な取組例を伺いたい。
- （３）英語によるコミュニケーション能力向上のための、来年度の取組について伺いたい。
- （４）インターネットを活用したオーストラリアの学校との交流内容について伺いたい。
- （要望）今後も教育委員会として、様々な学校間交流を、より積極的に支援していただきたい。

4 教員の海外派遣研修について

- （１）海外派遣研修のねらいを伺いたい。
- （２）海外派遣研修の具体的な内容を伺いたい。
- （３）海外派遣研修の期間を伺いたい。

(意見) 多様化する価値観を理解し、また、新たな価値を創造できる幅広い視野を持った教員を効果的に育成することができるよう期待している。

5 学校司書の配置と学校図書館の充実について

(1) 学校司書を配置した学校での効果について伺いたい。

(2) 学校図書館の本の選定方法を伺いたい。

(3) 魅力ある学校図書館とするための、蔵書の充実方法について伺いたい。

(要望) 学校図書館を支援する市立図書館との連携がスムーズに図れるよう、人員の配置や物流システムの改善等を要望する。

6 市民の読書活動推進事業について

(1) 「横浜市民読書活動推進計画(素案)」に対する市民意見の概要を伺いたい。

(2) 読書活動の内容について伺いたい。

(3) 図書館での外国語の本による読書活動の取組を伺いたい。

(要望) はまっこ読書ノートにも英語の本をいれるよう要望する。

(4) 計画に成果指標を盛り込むことへの考えを伺いたい。

(要望) すべての市民を対象として、地域全体で読書活動を推進していくため、区役所、図書館、学校が連携し、様々な地域団体や施設のほか、民間事業者も巻き込んで取り組んでいくよう要望する。

7 日本語指導が必要な児童生徒への支援について

(1) 日本語指導が必要な児童生徒の市内小中学校の在籍数を伺いたい。

(2) 日本語指導が必要な児童生徒への支援の現状と課題はどのようなものか。

(3) 「日本語指導が必要な児童生徒への支援策」の充実内容を伺いたい。

8 横浜サイエンスフロンティア高校について

(1) 科学系のオリンピックやコンクールの実績を伺いたい。

(2) 中高一貫教育校化のねらいを伺いたい。

(3) 中高一貫教育校化に向けた平成26年度予算の具体的な内容を伺いたい。

(意見) 中高一貫教育校となることで、将来的には世界で活躍できる科学者を数多く輩出してくれることにつながると期待する。

9 特別教室への空調設備設置について

(1) 今後の特別教室への空調設備整備の考え方について伺いたい。

(要望) なるべく早く、全校の特別教室に空調設備を設置していただくことを要望する。

6 大 山 しょうじ 委員（民主党）

- 1 コミュニケーション能力を養う英語教育推進のための人材の確保・育成について
 - (1) 英語教育における外部指標の活用に関して、小・中・高等学校のそれぞれの目標を伺いたい。
 - (2) 英語教員に対する外部指標導入についての考えと、導入する場合のそのレベル、あるいは、導入しない場合の理由を伺いたい。
 - (3) 英語教員の採用時に、一定の外部指標を設定して、人材を確保すべきと考えるが、見解を伺いたい。
 - (4) 中学校で、教員が英語を使って授業を行っている状況について伺いたい。
 - (5) 視察した授業の中で、かなり古いスタイルの授業を見たと言ったが、どのような授業でどのような感想を持ったか伺いたい。
 - (6) 英語教員の能力向上のための取組について伺いたい。

- 2 海外大学を目指す市立高校生を支援するプログラムについて
 - (1) 平成23年度、平成24年度卒業生で、市立高校から海外大学に進学した実績について伺いたい。
 - (2) 海外大学進学への支援策の具体的内容を伺いたい。
 - (3) プログラム利用者数の見込みと目標とする海外大学合格者数を伺いたい。
 - (4) プログラムで期待する効果について伺いたい。
 - (意見) 目的を明確に持って海外大学に進学し、グローバル社会で活躍できる人材が横浜から多く育っていくことを期待する。

- 3 教職課程のある大学との連携等による優秀な人材の確保・育成について
 - (1) 受験者を確保するための対策を伺いたい。
 - (2) 平成25年度合格者のうち、神奈川県出身者と県外出身者の人数の内訳について伺いたい。

- (3) 教員を養成する市内大学等との連携の趣旨について伺いたい。
- (4) これまでの大学との連携の取組状況を伺いたい。
- (5) 平成26年度に予定する大学連携の取組内容を伺いたい。
- (6) 教員育成に関する大学連携の取組内容を伺いたい。
- (要望) 生涯に渡り学び続ける気概を持った教員が、一人でも多く横浜市の教育を担っていくよう、大学連携などを効果的に進め、優秀な人材の確保・育成につなげていただくよう要望する。

4 理科支援員配置事業について

- (1) 理科支援員配置の具体的効果を伺いたい。
- (2) ここ5年間の配置校数の推移と配置などの工夫について伺いたい。
- (3) 本市と関東地方の政令指定都市の配置状況、1学級あたりの配置時間について伺いたい。
- (4) 理科支援員の全校配置についての考えについて伺いたい。
- (意見) 今後の具体的な検討結果が、理科好きなグローバル人材の育成や、横浜サイエンスフロンティア高校への進学を夢見る子供たちの増加につながることを期待する。

5 綱島・日吉地区における児童急増対策について

- (1) 綱島東小学校と日吉台小学校の児童数の推移を伺いたい。
- (2) 大規模な土地利用転換で住宅開発等が行われた場合の児童の受入対策の考え方について伺いたい。
- (3) 大幅な教室不足の状況が見込まれる場合には、必要な予算の確保も含めて対応を進めていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 子供のための教育環境の整備として分離新設の検討など、積極的な取組を進めるよう要望する。

6 特別支援学校のスクールバスの運行の改善について

- (1) 肢体不自由特別支援学校スクールバスのコース数と登下校時の平均乗車時間を伺いたい。
- (2) 乗車時間の考え方について伺いたい。
- (3) 長時間乗車となるコース数とそのうちの最長時間を伺いたい。
- (4) 児童生徒の負担を軽減するための改善について伺いたい。

7 特別支援学校でのタブレット端末の活用について

- (1) 特別支援学校を研究実践校とした理由を伺いたい。
 - (2) 特別支援学校での研究内容と結果の活用方法を伺いたい。
 - (3) 今後のタブレット端末の活用の拡大について伺いたい。
- (意見) タブレット端末の活用により、子供たち一人ひとりが前向きに授業に向かうことのできる環境になるよう期待する。

8 中学校で必修化された武道の安全指導について

- (1) 武道授業のための安全対策の現状を伺いたい。
 - (2) 武道安全等指導員の学校訪問の実績を伺いたい。
 - (3) 武道安全等指導員の学校訪問の効果を伺いたい。
 - (4) 今後の武道安全対策の取組を伺いたい。
- (意見) 安全対策が有効に機能し、安全で有意義な授業が展開されることを願う。

9 スクールソーシャルワーカー活用事業について

- (1) 平成23年度と平成24年度を比較した関係機関との連携についての変化について伺いたい。
 - (2) スクールソーシャルワーカー配置について学校のとらえ方を伺いたい。
- (意見) 今後もスクールソーシャルワーカー活用事業の充実が図られることを期待する。

1 部活動支援について

- (1) 支援の拡充内容を伺いたい。
- (2) 生徒の活動機会を確保するための部活動活性化について伺いたい。
- (3) 部活動の活動が中心になり、本業の学習指導が疎かになっている教員への指導について伺いたい。

2 学校施設の長寿命化と学校の統合について

- (1) 長寿命化の工事と統合のタイミングについて伺いたい。
- (2) 一律に長寿命化工事に対応ができない個別事情も多々あるなかで、柔軟な対応が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 全市的な対応が必要だと思うが、副市長の見解を伺いたい。

3 留年制度と基礎学力について

- (1) 留年の決定は誰が行うのか。また、行使されない理由を伺いたい。
 - (2) 卒業証書の文言を伺いたい。
 - (3) 証書を渡す校長の気持ちを指導部長に伺いたい。
 - (4) 証書を渡す校長の気持ちを教育次長に伺いたい。
 - (5) 学習状況調査は何故行うのか。
 - (6) 学習状況調査は教育委員会として、どのように活用されているか伺いたい。
 - (7) 基礎学力が担保されていないと判断された時、補習等を行っているのか。
 - (8) 基礎学力が担保されない生徒を見捨てるのか伺いたい。
 - (9) 指導力に問題がある教師に対するフォローは行っているのか伺いたい。
- (要望) しっかりとした社会人として育てる責任を教育委員会がしっかり取ってほしい。

4 N I E と学校図書について

- (1) 政治的・思想的に中立であるべき現状の教育委員会制度に対する評価を伺いたい。
- (2) N I E はどのようなものか。また現状の取組み状況はどうか伺いたい。
- (3) N I E で使われる新聞は誰が決めるのか。
- (4) 自民党の新聞を教材として採用するか伺いたい。
- (5) N I E こそ複数の新聞を活用して、子供達に新聞を読み解く力をつけさせるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 学校図書の選定は誰が行うのか伺いたい。
- (7) 政治的・思想的な色合いが強い図書が小学校にあって問題ないのか。
- (8) 映画にはR指定があるが、学校図書においては、不適切なものの判断を学校長にゆだねていいのか伺いたい。
- (9) 子供の目の届かないところに置いてほしいという保護者の思いにどう答えるのか伺いたい。
- (10) 全国学校図書協議会の図書選定基準は位置づけとして重視すべきと考えて良いのか伺いたい。
- (11) 学校長は適切に判断しているのか伺いたい。

5 教育委員長の所感について

- 「3 留年制度と基礎学力」及び「4 N I E と学校図書」への所感を伺いたい。

8 横山 勇太郎 委員（みんな）

1 一般会計における教育予算について

- (1) 教育予算の一般会計に占める割合の指定都市比較についての見解を伺いたい。
- (2) 神戸市と横浜市とを比較して差が見受けられる部分とその見解を伺いたい。
- (要望) 引き続き横浜の将来を担う子供たちへ充実した教育環境を提供していただくよう要望する。

2 学校・警察連絡協議会について

- (1) 学校・警察連絡協議会の概要を伺いたい。
- (2) 学校・警察連絡協議会加盟校の校種、及び国・公・私立別の現状について伺いたい。
- (3) 平成25年度の学校・警察連絡協議会の活動方針について伺いたい。
- (4) 学校・警察連絡協議会の主体を伺いたい。

3 国旗・国歌について

- (1) 学校教育における国旗・国歌の取扱いを伺いたい。
- (2) 国旗・国歌の取扱いについての市立学校への指導について伺いたい。
- (3) 入学式や卒業式における国旗・国歌の実施状況について伺いたい。
- (4) 入学式や卒業式以外での学校行事における国旗・国歌の取扱いを伺いたい。
- (要望) 国家や人種をこえて、国旗・国歌を互いに尊重できる態度を育て、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質をしっかりと育成してくれることを強く要望する。

1 教員免許状について

- (1) 他都市の例において、教員免許状が失効していることが確認できなかった理由を伺いたい。
- (2) 本市では、そのような事案がなかったのか。
- (3) 必要な教員免許状を持たない元副校長が授業を行っていた理由を伺いたい。
- (4) 教員の採用時に教員免許状をどのようにチェックして対策を講じているのか伺いたい。

2 領土に関する教育について

- (1) 学校における領土についての指導内容を伺いたい。
- (2) 市立学校において、領土問題がどのように指導されているのか。
- (3) 学習指導要領解説の改訂を受けた、横浜市教育委員会の対応について伺いたい。
- (4) 日本の領土に関して、歴史的な背景を子供たちにしっかり教え、我が国の歩んできた歴史についてきちんと理解させることが大変重要であると考えるが見解を伺いたい。
- (5) 日本の領土に関して、歴史的な背景を子供たちにしっかり教え、我が国の歩んできた歴史についてきちんと理解させることが大変重要であると考えるが教育委員長の見解を伺いたい。

1 学校給食の放射能検査について

- (1) 3. 11から3年、子供たちを預かる教育委員会としてどのような視点で取り組んできたか伺いたい。
- (2) 給食食材の全品検査という全国的にも注目される取組についての評価を伺いたい。
- (3) 全食材検査をやめる方針となっているが、どのように変更する考えか。また予算額を約3分の1としている根拠を伺いたい。
- (4) 4月からも検査対象となるのはどの食材か。
- (5) 単なる国基準ではないプラスアルファの対応をしてきたと思っているが、今後どうなるのか。
- (6) 2年前の本会議で市長が答弁した内容と教育委員会のスタンスは変わらないか伺いたい。
- (7) 丁寧に検査することを必要に応じて考えてほしいが見解を伺いたい。
- (意見) 国の基準プラスアルファの対応を横浜市として進めていただきたい。

2 中学校給食について

- (1) 政令市及び県内他都市の主な動向について伺いたい。
- (2) 給食導入に向けた動きが続いている理由についての見解を伺いたい。
- (3) 現行方式の課題について伺いたい。
- (4) 教育長は業者弁当を食べたことがあるか伺いたい。
- (5) 家庭弁当の持参率が9割であるとする根拠を伺いたい。
- (6) 弁当を持参していない実態の調査・把握について伺いたい。
- (7) 弁当を持ってこないのはなぜか。どういう状況にあるのかということの把握はできているのか。
- (8) 就学援助の認定者数の増加傾向から家庭・子供の貧困が進んでいるという実情を、弁当調査からは把握できていないと考えるが見解を伺いたい。

(9) 社会的な背景もあるため、実情を把握すべきだと考えるが副市長の見解を伺いたい。